

山内：使ってるだけで何十年何百件とする関係やってますからね。

野村：失礼な言い方はいい加減にしてくださいよ

山内：そちらじゃないですか。何が背任ですか。何が黒幕ですか。最初に・・・

野村：一般的な話として、

山内：一般的でないじゃないですか、あなた。チセの関係だって、自分のブログに何が、人のことに、その裏があるだとか何とかっていうなことを、自分の主観だけで喋ってて、これはもう・・・

野村：主観ではありませんよ、主観ではない。

山内：弁護士立ててやるつもりですから。

野村：どうぞ

山内：どちらもだから当然やってくださいしかるべきところに出て、これが 1500 円じゃ考えられないって言ってんでしょ

野村：考えられない

山内：そう思ったらそういうところに訴えてください。

野村：全く考えられない。

山内：そういうふうに訴えてください。あなたとしゃべったって、不毛の議論ですから。

野村：いやあなたは答える義務があるんだよ。

山内：だから答えるって言ってるじゃない。何回も（嘲笑）。

野村：失礼な、失礼な答え方、やめた方がいいよ、

山内：そちらの話ですね、そちらの話ですね。

野村：僕が失礼な言い方しましたか。

山内：背任だとか・・・

野村：一般論の話として、そういうものはいっぱいあるんですよ。ね、ただね、密室な犯罪というのは表ざたにならないから、ね、表にならないだけで・・・

山内：あなた、黒幕でない、っていうのを言ったよね。役場に、いかにも黒幕がいるような話をしましたけども、それは何ですか。黒幕って何ですか、それ。

野村：黒幕って言い方、僕しましたかね。

山内：しましたよね。一番最初に。山腰さんが全部やったわけじゃない。立場上やったけど、どっかに黒幕がいるんだって言いましたよね、それは何の話ですか、それ。

野村：それは言葉がね、あの、適切じゃなかったかもしれません。

山内：お互い様ですから、こういうヒートアップすることもあるし、だからペーパーにして出してくださいって言ってるのね

野村：僕がね、僕がね、それを、出したのは、良かれと思って、言ったつもり。なぜなら、ね、山内さんが全部、チセヌプリにしろ、これにしろ、1人決めてやってる話じゃないから。

山内：もちろんその通り

野村：ただね、立場上、組織だから、上下関係もあるし、立場上、言いたくても言えないことだってあるさ。それを僕は、おもんばかって、そういう言い方をしたつもり。どっちかというとなね山内さんのカバーをしてあげようと思ってね、そういう言い方をした。

山内：もちろん僕が言ったわけじゃないですけど、その黒幕っていうのは、あまりにも役場の組織に対して失礼な言い方じゃないですか。

野村：いい言葉が見つからなかったんですよ。そこは訂正しますよね。

山内：お互い様ですよ。僕もあなたに対する失礼なことは言ったかも・・・

告 1 4 2 - 6
(告 1 4 2 - 3 の反訳)

野村：ちょっと待ってよ。あのねその黒幕という言葉はあなたに対して失礼な言葉じゃないよ。

山内：組織、僕は組織の一員として、役場がそういう組織の中で、あの、物事を進めてるっていうそういうことに対して言ってますよ、僕は。僕は、個人的なこと言ってますよ。僕は、役場の職員ですから、役場の誰のことを言ったか知りません。黒幕を。だれの方に言ったかもしれませんが、そういう役場の一同僚、職員、上司に対して、そういうふうに表示したっていうことに対して僕は怒っています。

野村：それは撤回します。大変失礼しました。よろしいですか。

山内：だからそれを・・・

野村：だから、僕が言わんとしてるのはね、ただ単に、上下関係があるからね、上司に言われて、上司に言われて、やらざるを得なくて、自分の、意思に反して、やらざるをえなくてね、後から聞かれても、ちゃんとしたことは自分では言いたいけど答えられないってことは、多々あるということを、僕は言ったつもり。山内さんの、立場をおもんぱかって。